

(別記)

湖西市地域水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、総合パイロット事業などにより水田の畑地転換が進められ、畑作を中心とした複合型経営が中心となっているため、主食用米の需要が減少する中であっても転作作物の作付けは少ない。

農家の高齢化の進行に併せ、担い手への集積も進んではいるが、現在の水田面積を維持していくためにはさらなる集積が必要である。

2 作物ごとの取組方針等

市内の水田について、適地・適作を基本として産地交付金を有効に活用しながら作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、酒造好適米や売れる米の生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

まだ取組み農家が少ないので、飼料用米の生産拡大にあたり、今後は担い手を中心に、産地交付金を活用した更なる作付け拡大を目指す。

イ 米粉用米

取組なし

ウ 新市場開拓用米

取組なし

エ WCS用稲

取組なし

オ 加工用米

地元JA等出荷先との結びつきを強化し、担い手による生産の拡大を図る。
なお、全農委託販売として、需要者は主に静岡県酒造組合傘下のメーカーへ供給する。

カ 備蓄米

取組なし

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については取組みなし。飼料作物については、栽培管理や適期刈取、

排水対策等を関係機関と連携して指導し、収量及び品質確保を図り、更なる作付け拡大を目指す。

(4) そば、なたね
取組なし

(5) 高収益作物（野菜等）

実需者のニーズに合った生産を継続しつつ、施設栽培作物等の高収益作物への作付転換及び規模拡大による合理化を目指す。特に、水田を利用して生産される「キャベツ」、「大根」、「サヤエンドウ」、「セルリ」、「玉葱」、「トマト」、「苺」を振興品目として生産拡大を進め、産地形成及び生産振興を図る。

(6) 畑地化の推進

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29年度の作付面積 (ha)	平成 30年度の作付予定面積 (ha)	平成 32年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	234.0	234.0	234.0
飼料用米	0.38	0.40	0.45
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS 用稲			
加工用米	0.46	0.48	0.50
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物	0.13	0.15	0.20
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
・野菜	0.61	0.62	0.65
・花卉	0.5	0.5	0.6
・			
・			

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標		
				現状値	目標値

1	野菜	高収益作物作付助成	実施面積	(29年度) 0.61ha	(32年度) 0.65ha
2	加工用米	加工用米作付助成	実施面積	(29年度) 0.00ha	(32年度) 0.50ha
3	飼料用米、米粉用米	多収品種導入	実施面積	(29年度) 0.38ha	(32年度) 0.45ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり